



もとなが はるな  
**元永 晴菜**さん

国東高等学校 エコ委員会委員長

元永 晴菜さんは、1年生の時に「国東市手と手とまちづくりたい」の海洋環境学習で、ウミガメの保護活動に興味を持ちエコ委員になりたいと思いました。しかし、エコ委員会は希望者が多かったので、3年生になりやっと入ることができました。そして、委員長となり、より多くの生徒にウミガメの保護活動に興味を持ってもらおうと、告知ポスターの製作や全校集会での啓発活動に力を入れてきました。その結果、7月に開催した黒津崎海岸の清掃活動には、過去最多130人の生徒が参加してくれました。

晴菜さんは、「『ウミガメが産卵する国東の美しい海岸』は、私達の誇りだと思います。この貴重な財産を守る地元の方達に協力したいとの想いがあるからこそ、これだけ多くの生徒が参加したのだと思います。この活動を後輩達にもずっと続けていって欲しいです」と話していました。



くりばやし たつゆき  
**栗林 達幸**さん

国東飯店(国東町鶴川)

栗林 達幸さんは、高校卒業後、大分市内のホテルや中華料理店で修業を積み10年を一区切りとして、独立を決意。妻のとし子さんと平成元年に国東町鶴川に中華料理の国東飯店を開店しました。家族向けのやさしい味付けが好評で、地元の皆さんに昼のランチや夜の宴会でよく利用していただいています。平成13年には旧店舗が手狭だったことと近隣に良い物件があったことで移転。順調な経営の中、福岡の調理師学校を卒業した息子の智之さんが、3年前から一緒に働くようになりました。

達幸さんは、「自分の夢であった『地元に出す』ことが実現し、30年続けることができました。そして、同じ夢を息子が引き継いでくれてとても嬉しいです。これからは、息子がしっかりと受け継いでいくために、サポートをしていきたい」と話していました。



左から息子の栗林智之さん、達幸さん、妻のとし子さん



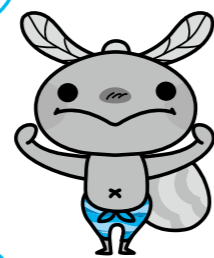
この さとみ  
**河野 里美**さん

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分TEC国東サテライト(国東町小原)

河野 里美さんは、昭和61年にソニー大分株式会社(現ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト)に入社しました。以来32年間、主に総務業務を担当しながら地元国東町で勤務してきました。

この工場は、平成28年3月末をもってゲーム機やデジタルカメラなどに搭載されるLSIパッケージの生産を終了し、以降は半導体の高密度実装技術の開発に携わる人員だけで運営されていました。しかし、赤松地区を支援する「小規模集落応援隊」の活動は9年前から変わらず継続しています。

里美さんは、「地元へのご恩返しはとても大切だからと、これまで活動を継続してくれた工場長に心から感謝しています。このほど画像センサーの検査工程が新設され、2年4か月ぶりに国東での生産活動が再開されましたので、地域振興に一層貢献していけるよう努めていきます」と話していました。



各分野で光を放っている 人にスポットをあてる

# 国東の輝きひと

Vol.5

吉崎 祥平さんは、幼い頃に父の徳孝さんのトラクターに乗せてもらうことが好きでした。また、両親の農作業の手伝いもしており、いずれは農業に従事したいと考えるようになりました。国東高校園芸ビジネス科で学んだ後、さらに高度な農業技術を習得するため、大分県立農業大学校へ進学しました。卒業後は、水稲、麦、イチゴ、稲苗の栽培と養鶏に加え、糞摺りや稲刈りなどの作業受託と多角経営をしており、作業を覚えることだけで精一杯でした。しかし、徐々に学校で学んだ知識を活かせるようになり、水稲の栽培面積を、当初の4ヘクタールから10ヘクタールまで増やすことができました。

祥平さんは、「父の作り上げた年間を通して収入のある経営方法と土耕栽培による濃厚なイチゴの味を、しっかりと守っていきたいです。そして、優しいパートナーを早く見つけたいです」と話していました。



よしざき しょうへい  
**吉崎 祥平**さん

(国東町治郎丸)



左から母の吉崎幸子さん、祥平さん、父の徳孝さん